

大分工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	現代社会	
科目基礎情報							
科目番号	0035			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	機械工学科			対象学年	1		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	間宮陽介ほか著,『現代社会』,東京書籍.						
担当教員	堀 栄造,久保山 力也						
到達目標							
(1) 現代社会の基本的な諸諸問題に眼を向け,自ら考える姿勢を身に付ける. (2) 現代社会に対する基礎知識を習得する.							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	現代社会の諸問題を詳しく理解できる.			現代社会の諸問題をある程度理解できる.		現代社会の諸問題を理解できない.	
評価項目2	現代社会の基礎知識を十分にもつ.			現代社会の基礎知識をある程度もつ.		現代社会の基礎知識をもたない.	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	現代社会について環境問題,生命倫理,経済,等の多角的視点から学び,地球的視点から物事を考える力を身に付けることができるように授業を展開する.						
授業の進め方・方法	地球環境問題,福祉社会のあり方,経済社会の変容と現代の企業,市場経済のしくみ,国民所得と経済成長,金融のしくみ,中央銀行の役割,政府の役割,戦後復興と経済成長,産業構造の転換と国際経済環境の変化,経済のバブル化とその後,日本経済の現在,中小企業と農業,等について学習する.						
注意点	学習した内容をしっかり復習すること.						
評価							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	地球環境と資源エネルギー 科学技術の発達と生命		地球環境と資源エネルギー等について理解できる.		
		2週	豊かな生活と福祉社会のあり方		福祉社会等について理解できる.		
		3週	経済社会の変容と現代の企業		経済社会の変容や現代の企業について理解できる.		
		4週	市場経済のしくみ		市場経済のしくみについて理解できる.		
		5週	国民所得と経済成長		国民所得や経済成長について理解できる.		
		6週	金融のしくみと働き		金融のしくみと働きについて理解できる.		
		7週	中央銀行の役割と金融の自由化		金融政策について理解できる.		
		8週	政府の役割と財政		政府の役割と財政について理解できる.		
	2ndQ	9週	前期中間試験				
		10週	前期中間試験の解答と解説 戦後復興と高度経済成長		戦後復興と高度経済成長について理解できる.		
		11週	産業構造の転換と国際経済環境の変化		産業構造の転換と国際経済環境の変化について理解できる.		
		12週	経済のバブル化とその後		経済のバブル化とその後について理解できる.		
		13週	日本経済の現在		日本経済の現在について理解できる.		
		14週	中小企業と農業		中小企業と農業について理解できる.		
		15週	前期期末試験				
		16週	前期期末試験の解答と解説				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0